



管内企業のアジア各国への進出支援に向けた 地域金融機関の取組みについて

平成26年5月28日
北海道財務局

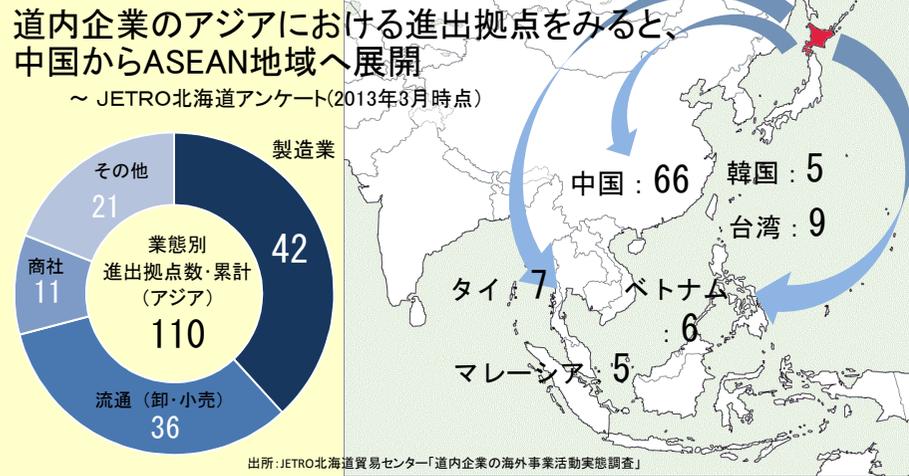
問合せ先
理財部 金融監督第一課
TEL 011-709-2311
内線4355

管内企業のアジア各国への進出支援に向けた地域金融機関の取組み

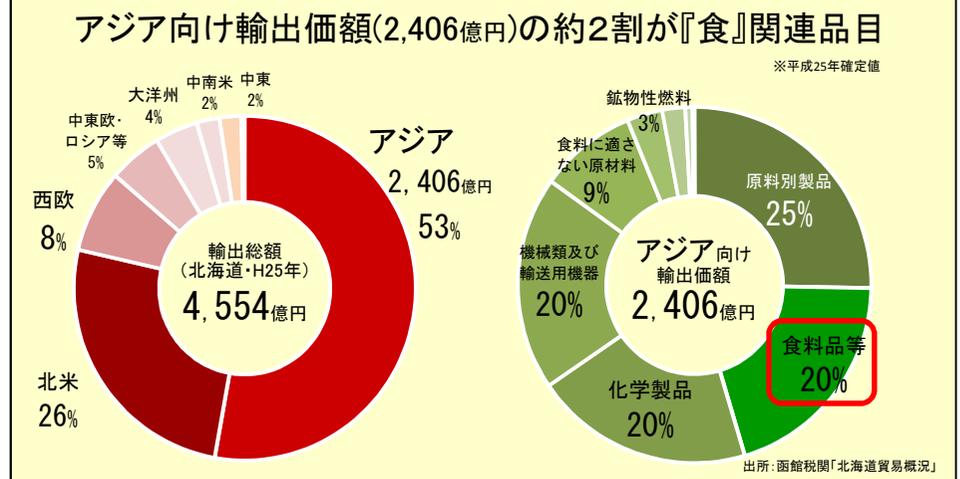
(1) 北海道内企業のアジア各国への進出動向

道内企業のアジア各国への事業展開は、本州企業に見られる「企業村」毎の進出と異なり、個別企業による進出ニーズや、海外での製造拠点を必要としない道産品の輸出促進に特徴がある。これら道産品の輸出促進等の背景には、アジアからの観光客に下支えされた、北海道の『ブランド力』が大きく寄与している

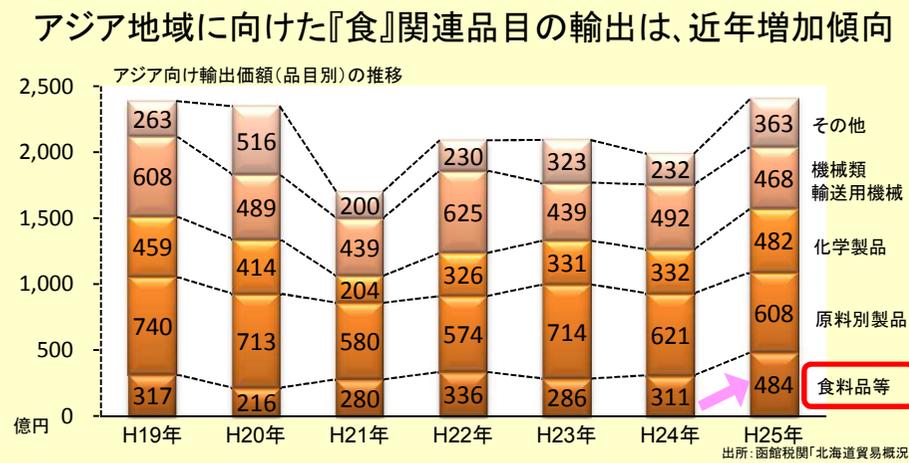
北海道内企業のアジア進出拠点



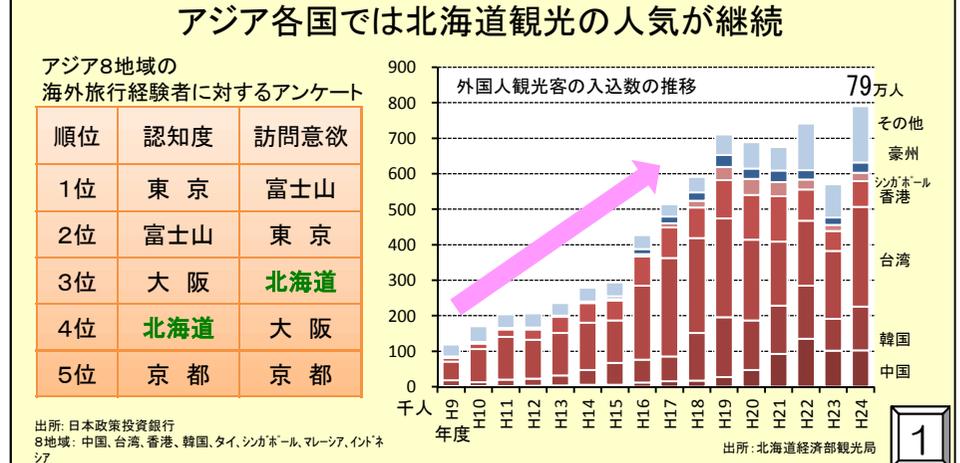
北海道の輸出動向



アジア向け輸出価額の推移



外国人観光客の入込数の推移等



(2) - ① アジア進出支援に向けた地域金融機関の具体的な取組み等 ～ 態勢整備の状況～

北海道内の地域金融機関における海外進出支援に向けた態勢整備を見ると、地域銀行においては、個別企業のトップライン支援に重点を置く一方、協同組織金融機関においては、取組みに濃淡が見られる中、情報収集や上部機関との連携を模索する動きが見られる

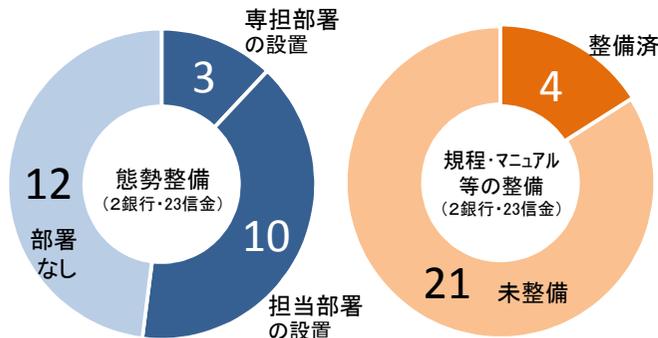
■ 北海道内地域金融機関の海外進出支援に向けた態勢整備の状況等

地域銀行

態勢は相応に整備され、ビジネスマッチングや販路拡大など、個別企業に対する具体的な支援を重点的に取り組んでいる

信用金庫

取組みに濃淡が見られる中、海外進出支援に関する全般的な情報収集や、上部団体等の活用・連携に取り組んでいる



重点的に実施している取組み

- 道内銀行
 - ✓ ビジネスマッチング・販路拡大
 - ✓ 個別企業への情報提供
 - ✓ 貿易取引（輸出・輸入）
 - ✓ 態勢整備
- 信用金庫
 - ✓ 全般的な情報収集
 - ✓ 上部団体等の活用・連携
 - ✓ 態勢整備

※ 出所：北海道財務局ヒアリング結果

■ 北海道内地域銀行の海外拠点の状況等

北海道銀行

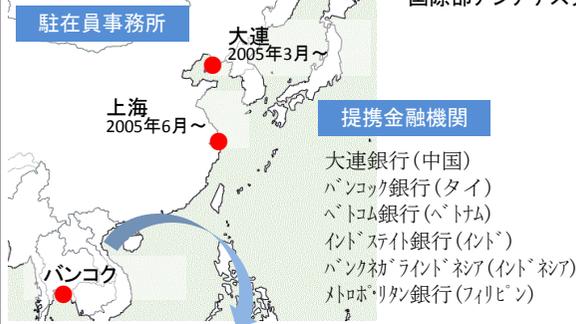
担当部署：
国際部アジア室
国際部ロシア室



ロシア・ウラジオストク駐在員事務所の設置
～ 2014年3月
ロシア極東地域に進出している取引先および進出を検討している取引先のサポートや、同地域で農業ビジネスの展開を検討している先のサポート等を目的として設置

北洋銀行

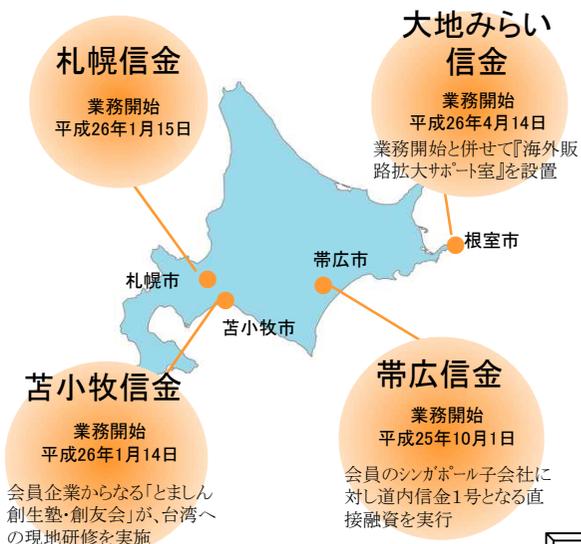
担当部署：
国際部アジアデスク



タイ・バンコク駐在員事務所の設置
～ 2014年1月
道内企業のASEANにおけるビジネス活動を支援する『オール北海道』のビジネスセンターとして、現地への進出、販路拡大、観光客誘致の一層の促進を目的として設置

■ 北海道内信用金庫の取組み

26年4月末現在、道内23信金中4信金が
会員等の海外子会社への直接融資に向けた態勢を整備



(2) - ② アジア進出支援に向けた地域金融機関の具体的な取組み等 ～個別事例～

中小企業の海外展開に地域ぐるみで取り組む中、地域金融機関が必要なサポートを行い、水産加工品の輸出や、現地法人の設立に至った事例がみられている

地域が一体となって取り組んだ 根室産サンマのベトナムへの輸出

- 北海道根室市は好漁場が近く、サンマの水揚量は日本一
- 国内市場縮小に対する危機感から、販路拡大を図るため、地元の関係機関が連携し、アジア向け「冷凍サンマ」を中心とした根室産水産物の輸出促進を図る

具体的な取組

- 平成22年度に、根室市、根室水産協会、商工会議所、市内4漁協が「根室市アジア圏輸出促進協議会」を設立。その後、根室金融協会が加入。**地域金融機関は、輸出に関する各種実務指導、商談会での交渉サポート、商品仕入に関する融資等を実施**
- 5か年計画の「根室水産物・食品輸出促進支援事業」（22～26年度）を開始。5か年で輸出を10倍にする目標を設定



取組の成果等

- 平成22年のテスト輸出に始まり、以降、ベトナムへのPR効果や、ブランド力の強化等から、輸出量は増加
- 「冷凍サンマ」に加え、「冷凍秋サケ」等、他の水産加工品も同一コンテナで出荷
- 平成24年度からは、ベトナムに加え、シンガポール・香港への輸出を開始

波及効果

- ベトナムとの人的・経済的交流が深まる中、根室市の眼鏡店が、ベトナム・ホーチミン市に日系企業では初となる眼鏡小売店を出店

地元産品の東南アジア展開に向けた 子会社設立と地域金融機関による支援

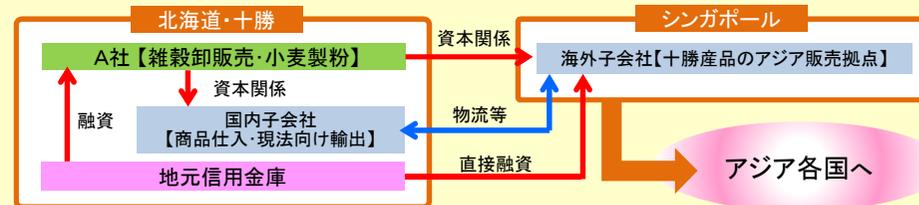
- 北海道十勝地域で雑穀卸販売・小麦製粉を営むA社は、域内市場の縮小、TPPや構造改革等の農業を取り巻く問題を背景に、東南アジアへの販路拡大を求める地元企業の橋渡しを目的とした輸入代行業者を設立

具体的な取組

- A社は、地域の中小企業団体によるシンガポールへの視察をきっかけに得られた人脈を活用し、同国に輸入代行業を営む新会社を設立、併せて、地元十勝にも輸出代行業を営む新会社を設立し、地元企業のアジア展開に向けた枠組みを提供
- **地元信用金庫は、A社の取組みを資金面でサポートするため、海外子会社への直接融資に向けた態勢を整備し、融資を実行**

取組の成果等

- 域内需要の縮小などに危機感を抱く地元企業の、東南アジアへの事業展開に向けた足がかりとなった



■ 地域金融機関が今後行おうとしている支援

地域銀行

- 現地での物産展開に留まらず、**実際にビジネスの軌道に乗せるため**、LC(輸入信用状)作成、海外バイヤーとの交渉に関する指導など、**具体的・個別的な支援**に重点を置きたい
(B (Business) to C (Customer) から B to B へ)
- 海外駐在員の活動に、**道産品購入バイヤーの発掘**を盛り込み、販路拡大に取り組む道内企業との間で、**迅速で確度の高いビジネスマッチングを実現**したい
- 取引先の海外進出ニーズに応じ、**自行ネットワークの活用**や、**海外の提携金融機関や関係機関との連携**により支援したい

協同組織金融機関

- 会員の海外子会社への直接融資業務に向けた態勢を整備したものの、現時点で支援実績がないため、**取引先企業に対し海外進出等に関する潜在的ニーズの調査**を行う
- 情報収集に積極的に取り組むことと併せ、海外進出を検討する企業に対しては、リスクを低減するための各種方策を説明することで、海外進出に関する**心理的なハードルを下げていきたい**
- 海外進出に関する相談があった場合は、**経済産業省の『海外展開一貫支援ファストパス制度』の活用**や、**中小企業基盤整備機構、信金中央金庫などと連携**し、支援したい

(3) アジア進出支援に向けた今後の課題

中小企業が海外進出の過程で直面する課題は多種様々であり、必要とされる個々のニーズに対し、地域金融機関が単独で対応するには人的・物的な限界がある。したがって、地域金融機関による海外展開支援においては、外部専門機関や関係機関と連携した地域ぐるみの取組みが重要となる

■ 企業進出等の足かせとなっている規制や慣行等

- アジア諸国には、各国特有の商習慣が存在するため、現地での取引に精通した機関（人材）との連携が重要【銀行】
- 輸出先の港から消費地までの物流インフラの整備と物流手段に精通したバイヤーの確保が重要【銀行】
- 為替リスクや信用リスクがどの程度あるかが見えないため、海外展開を積極的に検討する企業は極めて少ない【信用金庫】
- 輸出先がイスラム圏である場合には、『ハラール認証』に関する知識が必要【支援機関】
- 政府が作成する『原産地証明書』や『衛生証明書』、国によっては指定された品目に対する価格規制が存在する【支援機関】

【参考】北海道財務局主催 地域密着型金融に関するシンポジウム(3/14)
パネルディスカッション『中小企業の海外進出に向けて地域金融機関に求められる役割とは』

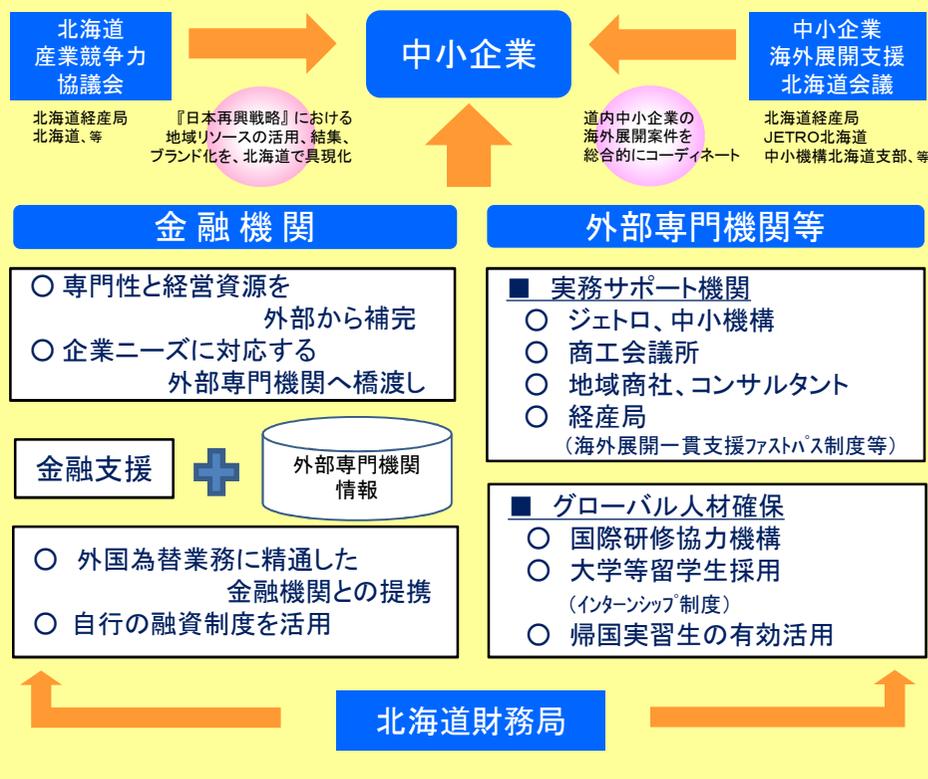
【企業経営者の声】

- ✓ アジア進出は今がチャンスだ、こんなチャンスはないと言われる。一般論としてそれは分かっているが、具体的にどう対応すればよいか分からない
- ✓ 商習慣の違いがある海外との取引で、途中で取引を謝絶された場合、どのようにして債権確保するかが問題
- ✓ 海外展開の中で実際の課題に直面すると、「人」の問題に行き着くことが多い。金融機関には、人材教育や発掘の面で協力頂けたら有難い



→ 個々の企業に応じた『オーダーメイド』の支援を

■ 中小企業の海外展開支援に向けた環境整備



■ 今後の課題等

- 北海道の主要産業である『食』に関連する産業の海外展開ニーズは拡がりをみせている
- 今後は、観光関連産業と連携した『北海道ブランド』の一層の拡大を図りつつ、外部専門機関やグローバル人材の知見を活用した安全・安心な農水産物・加工食品の輸出促進を『オール北海道』として取り組む必要がある
- 更に、中長期的には、北海道に優位性のある農業インフラ技術や寒冷地技術等を活かした北東アジア・ロシア地域への展開についても取り組む必要がある